



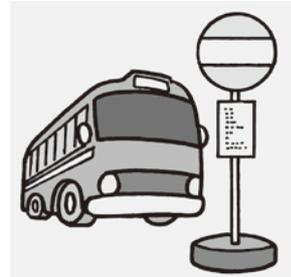
齊藤 重美
(自民公明クラブ)

スクールバス拡充で 安全確保を

運行基準に照らし
対応している

議員 ことしは熊の出没や台風が発生が多い。子供たちの安全を最大限守るため、できる限りスクールバスで送迎してほしいが、現在のスクールバスの運行状況は。

教育長 小中学校のスクールバスは、市保有のバス、路線バス、委託バスで運行しています。小学校は七校五十三名、中学校は六校百二十四名が利用し、学校ごとに登校時一回、下校時二回以内で運行しています。



スクールバスで安全対策を

特に配慮が必要な場合と考慮しています。

プラム、桃です。なお、人的被害は確認されていません。捕獲数は、わなによる二頭です。

議員 熊を見かけた際の連絡先と市の対応は。

農林部長 熊を目撃した場合は基本的に警察署へ通報していただきます。市では警察署と連携し、出没状況の把握や現地確認を行い、駒らんメール、広報車、防災無線などによる注意喚起を行います。学校周辺や通学路等で出没した場合は、各学校へ注意を呼びかけるとともに、状況により巡回などを行います。また、住宅地で出没した場合を想定し、緊急時の安全確保のため各関係機関が役割を取り決め、即応できる体制を構築しています。

運行基準は学校統廃合その他の事由により通学距離が小学校で四キロメートル以上、中学校で六キロメートル以上の場合に著しく長くなった場合としていきます。運行基準のその他の事由とは、天災等により児童生徒の安全な登下校の確保のため

議員 春から各地で熊の出没が多く犠牲者も発生している。また、ことしは熊の餌となるブナの実が凶作で、人里までおりてくる可能性がまだまだあり不安を抱いている。今年度の出没状況と被害状況、捕獲数は。

農林部長 八月末現在の目撃件数は五十五件で、既に昨年度の年間件数の約三倍となっています。農作物の食害が九件あり、被害作物はトウモロコシ、

食肉関連産業で 安定した雇用の創出を

大型食肉処理施設誘致を
実現させたい



畑山 親弘
(市民連合クラブ)

議員 人口減少対策の一つとして安定した雇用の創出が極めて大切だと考える。当市の地域資源を生かした雇用創出には畜産関係の食肉関連産業抜きには考えられないと思

うが、市の考えは。

市長 食肉関連産業は、当市はもちろん上北地域の活性化につながる成長産業であり、高度な情報を持つ北里大学獣医学部があることから他地域にはない優位性もあると認識しています。総合戦略で取り組むほか、最新の衛生施設のある大型食肉処理施設の誘致に向け努力したいと考えています。

議員 最近の社会情勢の変化により墓地を管理する家族がいなく困っていることと相談を受けることがある。公営の合葬墓の設置など、今後の墓地、埋葬のあり方についてどう考えるか。

民生部長 お墓に関する社会ニーズの変化への対応や承継者不在による無縁化、限られた区画の有効活用のため、未利用墓地の返還促進など、総合的な検討の中で納骨堂のあり方や承継者を必要としない合葬墓についても先進事例を参考に調査し

たいと考えています。

議員 稲生川沿い散策路は一定の距離があり、風景もよく、歩道の材質も足腰に優しく快適だとされているが、トイレが一箇所しかない。適切な場所に設置する考えはないか。

農林部長 近年は健康維持を目的にウォーキングやジョギングなどの利用者がふえています。新たなトイレの設置は設置場所や工事費などを考えると非常に難しいと認識していますが、今後利用者数を調査し検討したいと考えています。



トイレ増設でより快適に